

## 脳梗塞の早期リハビリテーション実施率

### 項目の解説

脳梗塞患者へのリハビリテーション早期実施は有効です。意識がなくICU(集中治療室)内にいるような状況においても適切にリハビリテーションを施行することで、意識回復後の機能改善の可能性があります。適切なリハビリテーションの開始により、入院期間の短縮やQOLの改善にもつながり、より適切な医療介入を評価するものです。

脳梗塞の新鮮発症に限り、緊急入院患者に限定します。「DPC010060」では、椎骨脳底動脈不全やもやもや病の検査入院等、実際に脳梗塞を発症した患者以外も含まれるため、病名と入院時の状況の把握が必要です。

### 当院の値(単位・調査期間)

21年度	調査せず
20年度	60 % (年間)
19年度	55 % (年間)

### 算式

分子:入院4日以内にリハビリテーションが開始された患者数

分母:最も医療資源を投入した病名が脳梗塞の患者数, 緊急入院に限る

### 定義

脳梗塞の早期リハビリテーション実施率

脳梗塞は新鮮例に限定します。3日以内退院と転帰が死亡である場合は除き、再梗塞は含みます。